第25代専如門主伝灯奉告法要 都圏協賛行事

ターズサミット

の大切さをお示しくださいました。

き方を目指し、一人ひとりが世界の幸せのために行動していくこと

う阿弥陀如来の願いをいただく私たちが、

仏さまのお心にかなう生

していると指摘されました。その上で、誰一人残さず救いとるとい

人類の生存に関わる困難な問題が私たちの自己中心的な心を原因と

差別を含む人権の抑圧など、世界規模での

教「念仏者の生き方」において、テロや武力紛争、経済格差、

核物質の拡散、

浄土真宗本願寺派第二十五代門主に就任された専如門主は、

活動の相互連携を生み出すことが必要とされています。 みを見返すことで、既存の活動の見直し、具体的な活動の展開、 かけました。SDGsという世界規模の目標からさまざまな取り組 Goals)」を設定し、広範な課題に統合的に取り組む必要性を呼び ○年を目標年と定め、貧困・飢餓・不平等・環境など十七の目標が 取り残さない——No one will be left behind」を理念に、二〇二 で始まっています。国際連合加盟国は、二〇一五年九月、 ·持続可能な開発目標:SDGs(Sustainable Development 世界規模で頻発する困難な問題の解決を目指した動きは、 世界中

よう、SDGsから学びを深めるために企画されました。 S」は、ご門主の「念仏者の生き方」を受け、次世代を担う人びと 告法要首都圏協賛行事「次世代リーダーズサミット 仏教×SDG (次世代リーダーズ)が主体となり諸問題の解決に寄与していける 十一月八日に築地本願寺で開催された第二十五代専如門主伝灯奉

告いたします。 ディスカッション(前半)と、当日行ったアンケートについてご報 事松島靖朗氏、相愛大学教授釈徹宗氏をお迎えして行われたパネル ル協会代表理事末吉里花氏、 リストに慶應義塾大学大学院教授蟹江憲史氏、 本号では、モデレーターに東京藝術大学理事の国谷裕子氏、パネ NPO法人おてらおやつクラブ代表理 一般社団法人エシカ

1 貧困を なくそう

İY**İ**İ

Mi ₫ • <u>Ф</u> 8 備きがいも 経済成長も $\overline{\mathsf{GO}}$ M 9 産業と技術革新 基盤をつくろう 10 人や国の不!

4 質の高い教育を

一人取り残さない」 誰

パネルディスカッション (前半)

『仏教×SDG s』

|題も問題

の根本的

な原因を統合的に解

は、経済の問題も社会の問題も、環境の スーヨークで取材をいたしました際、本 日のテーマである「持続可能な開発目標 日のましてである「持続可能な開発目標 のテーマである「持続可能な開発目標 は、経済の問題も社会の問題も、環境の

一致で採択されたわけです。そのキャッー致で採択されたわけです。そのキャッーのSDGsをもっと広く知ってもららこのSDGsをもっと広く知ってもららこのSDGsをもっと広く知ってもららための活動を続けております。
SDGsは、国際的な新たな目標が全会

| るかは私たちで見つけんですが、どう到達するは、国際的に定められている

No D、協司且合、全体、企業、宗教団体、 体、企業、宗教団体、

私たち一人ひとりが解決策を見つけ出していかなければならない。これまでもさまざまな社会貢献活動を行ってきた仏教界ですけども、今日はもっとSDGsを皆さまに知っていただくためにも、仏教とSDGsの重なり合うところを見つめながら、具体的に世界共通の目標となったSDGsに仏教界がどのように取り組むことができるのか、そして、何より二むことができるのか、そして、何より二むことができるのか、そして、何よりことができるのか、そして、何よりことができるのか、そして、何よりことができるのかを考えていきたいとどう図っていくのかを考えていきたいと思います。

聞きしたいと思います。 SDGsの十七の目標、そして、一六 なんと釈さんに、率直にSDGsをどの さんと釈さんに、率直にSDGsをどの まうに受け止めていらっしゃいます松島

ないものだろうと、何か他人事のように 、は、よく耳にする言葉ですが、何だかまう。よく耳にする言葉ですが、何だかます。 このままでは地球が終わってし

国谷 裕子
(くにや ひるこ)
東京藝術大学理事、慶應義塾大学特別招聘教授。米国ブラウン大学卒。
NHK衛星放送「ワールドニュース」
キャスターを経て1993年から2016
年までNHK「クローズアップ現代」
のキャスター。著書に、『キャスター
という仕事』(岩波書店、2017)。

٥ ر ۲

さまざまなステー

出さなければなら

者の皆さま、そして、 NPO、協同組合、学

段やっていることがそのまま、 という、 りました。 ますと、ようやくここまでブレークダウ その成果を図るための二三〇の指標があ な課題を解決していかなければならない いう受け取りをさせていただくようにな ることがある。もっと言うと、 ンしていただくことで自分たちにもでき の指標、どんなものがあるのかを見てみ るということでした。具体的に、二三〇)目標、 課題を解決するための一歩となれると S D G s この大きな前提に立ちますと、 一六九のターゲット、 限りある時間の中でさまざま は、二〇三〇年までに十七 地球規模 お寺で普 さらに

松島 靖朗 (まつしま せいろう) 浄土宗安養寺住職。NPO法人おてら

おやつクラブ代表理事。早稲田大学 卒業後、(株) NTTデータを経て僧侶 場ですね。三つ目として、 界が成り立っているという「縁起」 きているもののみならず、 を整えるという道です。三つ目について げることができます。二つ目として、 話ししますと、一つには「非暴力」をあ ます。まずは仏教の特徴的なところをお に。仏様への「おそなえもの」を った言葉に代表されるように、心と身体 は、 「おさがり」として「おすそわけ」す あらゆるものが相互依存しあって世 共有できる点や共通点が多いと思 る「おてらおやつクラブ」を通して 国内の貧困問題に取り組む うに思えてきました。 を秘めている場所のよ 普段とは違った可能性 すお寺という場所 として過ごしておりま 場、そして、 私たちの普段の生活 釈

SDG sと仏教

しませんでした。これも仏教の特徴 や商業活動自体を否定したり蔑視したり とシェア」の重視です。

仏教は経済活動

からあった道だ」と言っています。

ブッダも「私が説いているのは古来

もう一つあげるとしたら、

「フェ

7

す。

しかしアンフェアな経済活動

商

くことを説きます。

典型的例はお布施で

経済的な活動で得たものをシェアしてい

活動はいけないと説いています。

また、

過ごしている自分がいました。

な領域に人間ならではの喜びもあれば苦 少し補足しますと、人間というのは本来 人間の過剰な部分とどう付き合うか 少欲知足とい 、ます。 環境も含め その 沁過剰 すね。 は、 0 よう。 かなくていいわけです。多くの公的な活 はそれぞれでいいんだというところです かみ合うのではないかと思います。 れらの特性はいずれもSDGsとうまく まま、 ぼ、 ところで、SDG これだと仏教徒という立場を横に置 目標設定があって、 以上、 でもSDGsは、 宗教や信仰を表に出しにくいでし クリスチャンはクリスチャンの 急いで列挙しましたが、 sのよさとい 到達のプロセス 仏 教徒は仏教徒

う

的に過剰な領域を持っていて、

みもあるのだろうと思い

修行の場

マとしてありました。だから、

ゴ

1

というのは、

はるか古代から人類

のテー

まま、 取 り組むことができます。

私たちの普通の 行動である消費から

感がある。 が壊してしまうのではないかという危機 て、このままでは地球システムを私たち る力を持ってしまった。 ている。 性というものがSDGsによって問 (国 谷) 地球の再生能力を上回 まさに今、 人間がいわば地球をつくり変え 私たちの行 人間のパワーの ってしまっ (V の過 わ n 剰

に取り組んでいらっしゃいます。 末吉さんは、 エシカル消費という活 具体的 動

エシカル

消費の最大

がりをお話ししていただけます にエシカル消費というのはどういうも (末吉) なのかということと、 エシカルという言葉は英語で直 SDGsとのつな

こで、 使って、必ず消費をしています。 という意味は、 費しているものが、 消費行動のことを指します。 域に思いやりのある、 消費と言って推進してい 訳すると、 ってきたのか。 H るんですけれども、 っの と生活 誰が、 の中で何かしら食べて、 「倫理的な」という意味にな どうやってつくっているの あるいは、そのものがど 人や地球環境、 われわれがエシカ いったいどこからや または配慮された る |エシカル_ 私たちは毎 社会、 その消 着て、

企業で展開。東京都消費生活対策審 議会委員、NPO法人FTSN(Fair Trade Students Network) 関東顧 問。著書に、『はじめてのエシカル』 (山川出版、2016)。 とが す。 問題があると思って づらい世のなかにな が見えないというこ るときに、 0 ている >非常に 私は、

と思

(V

末吉 里花

(すえよし りか)

-般社団法人エシカル協会代表理事。 慶應義塾大学卒業。エシカルの啓 促進運動を全国の自治体や学校、

> るい す。 ば、 は、 の魅力だと思っています。 るというところが、 ところから社会が抱える問題を解決でき b 13

なかなかわかり その裏側 消費をす と直 のは、 性化することへの行き詰まりという ろもあるかと思います。 をすることによって経済が活性化してき 大量廃棄といった世界の中で、 た、そうした社会に慣れきっているとこ (国 谷) |面しているのではないかと思 まさにその消費によって経済を活 私たちは大量生産、 SDG sという 大量 その消費 消 r V

担うことができる。 大きな一歩を踏み出さなくても、 いろいろな問題を解決できる力の一端を とになぜ注目したかと言うと、どんな人 を引き起こしている場合があるからで ます。 毎日の消費の中から世界が抱えている 私が活動していく中で、 は生物多様性の損失、 環境汚染、 世界が抱えるさまざまな問題、 なぜなら、 環境破壊、 つまり、どんな人も 消 費 行 消費というこ といった問 人権侵害、 動 0) 身近な 裏 例え 側 あ で

ま

危険で、

図式でした。エシカル消費は、そうした 『non・no』だかに、「少欲知足的な暮ら 脈にはのらないムードもあると思います もしますし、いくらあおられてもその文 心にシェアするのが上手になっている気 人が多いようです。 の消費モデルの具合の悪さを感じている 消費とは別モデルだと思います。 いわゆるニーズへと変換させる、という 欲望をあおり立てて購買意欲を喚起し、 そのときに、なぜこういう特集をす そういえば、私は の取材を受けたことがありま 特に、若い世代を中 [an・an] だか かつて

蟹江 憲史 (かにえ のりちか)

慶應義塾大学大学院政策・メディア 研究科教授、国連大学サステイ リティ高等研究所シニアリサーチフ ェロー。著書に、『持続可能な開発目 標とは何か-2030年へ向けた変革の アジェンダ』(ミネルヴァ書房、 2017)。

と読者をあおって、

暮らしや、 ました。むしろ、 精神的な心地よさを求める、

くというやり方では

いぐいと引っ張って

若

い読者がついて来な

す。

釈

か

つての消費モデルというの

は

自分の身の丈に合った

いのです」と言って

か。 ういう特集を時々やらないと読者を引 や奉仕といった考え方はないんでしょう までの消費のモデルも少しずつ変わって 張っていけないという話を聞い あるいはみんなでうまく分かち合う、 いるのだなと実感しました。 ところで、一つ質問をさせてくださ エシカル消費の取り組みの中に贈与 て、

ことができるような社会になったとして て、私たちがそういったものを手にする (末吉) 大量生産、 エシカルなものがたくさん増え 大量消費、 大量廃棄とい

れがトレンドだ!など すが、「もう、今はこ か聞いてみたので うモデル、この在り方が変わらなけ ですので、

るの

っています。 かって進めていけるのではないかなと思 組み合わさったら、 分配や分かち合いなどとエシカル消費が によって消費という価値よりも、 をもう一度見つめ直したい。また、 おるということではなく、 本末転倒だと思っています。 決してエシカルな消費をあ さらにSDGsに向 消費の在り方 資源の それ

豊かさを分かち合う フェアとシェア

だきました。彼女は、 切であり、 からこそ、 かな人との格差が大きくなっている。 るけれども、 料も生産されているし、 っしゃいます、アミーナ・J・モハメ (国 谷) ·副事務総長にインタビューさせてい 国連のSDG 豊かさを分かち合うことが大 そのことがSDGsである 貧困で苦しんでいる人と豊 世界では十分な食 Sの責任者でいら 豊かさも十分あ ッ

れ

ば

釈 徹宗

(しゃくてっしゅう)

浄土真宗本願寺派如来寺住職、相愛 大学人文学部教授、特定非営利活動 法人リライフ代表。専門は比較宗教 思想・人間学。著書に、『落語に花咲 く仏教 宗教と芸能は共振する』(朝 日選書、2017) など。

というので、競争が起こる。むしろエシ ども、例えば、エシカルなものを買おう と、やはり何か削られる感じがするけれ ものであれば、掛け算で減らしていくと の際、 性が掛け算になったシステムになってし のではないかなと思いました。 か、そういう仕組みにしないといけない カルなものをつくっていた方が儲かると て、ちょっとそれはやめましょうと言う いう方がいいと思います。割り算をし は難しいと思いますが、掛け算で増えた まったことによる問題だと思います。 われわれは生活を変えるというの

過

こと、想像することが意外と難しい。蟹

いる困った人たちのことに関して考える すのは非常に難しい。見えないところに すけども、いったん手にしたものを手放 しかし、そうした過剰性ということで

非常に印象的なことをおっしゃいま

うことだと思います。ルールをつくっ SDGsのつくりというのは、そうい

ネルギー利用などが上昇したのは、

過剰

代から世界人口、実質GDPをはじめエ りました。そうだとすると、一九五〇年 (蟹江)

過剰なものとどう付き合うかと

いうのは、昔からあるというご指摘があ

か。

剰性からの脱却と考えていいのでしょう 江先生、本当に今問われているのは、

だよ、というアプローチ ではなくて、目指しまし ながりましょうというこ ましょう、やれる人がつ うに、できるようにやり りたいことをやりたいよ ょう、やりましょう、や て、これをやっては駄目





す。
とです。そうやって新しいつな
いことを楽しくやっていくとい
いことで逆の力を出していくと
がりを見いだしながら、やりた

(国 谷)

貧困に苦しんでいる

方々や格差、不安を抱えている 人々が増えている中で、富を分 が繰り広げられている中で、フ が繰り広げられている中で、富を分

(松島) 確かに難しいチャレン松島さんは感じられませんか。

ジだと思いますが、一方で「お

てらおやつクラブ」という活動

さまにお供えされた食べ物や日国のお寺のほとけさま、ご先祖国のお寺のほとけさま、ご先祖のおいます。

用品などのお供え物を生活に困

ェアする活動です。

受け取るに足る存在であるかどうか。そ という存在でもあります。まさに私たち 象ではなくて、お布施をいただく存在と ります。その一方で、私たちは消費の対 買う時代になっている。そんな現実があ するサービスの登場に象徴されるよう なっているインターネットで僧侶を派遣 いでしょうか。私たち僧侶がお供え物を アを実践していく第一歩になるのではな いうことを考えることが、フェア、シェ がそのいただいたものをどう使うのかと して、お仏飯で育てられて生活している に、今の時代は僧侶をインターネットで っている現実があります。昨今、話題に たち僧侶自体も消費の対象になってしま 消費の文脈で言いますと、現代では私

違いは、企業や人びとの、生産消費活動動と近い活動ではあるのですが、大きな分する活動ですから、フードバンクの活

こが問われていると感じています。

に参加された皆さまにアンケートをご依

代リー

ダーズサミット

築地本願寺_

首都圏協賛行事

lット in 築地本仏教×SDGs

次世

「第二十五代専如門主伝灯奉告法要

|アンケート報告

によって発生した余剰食糧を再配分するということではなくて、供養のために施主さまがご用意されたもの、たくさんの方の思いが詰まったお供え物を再配分しているということが一番大きく、また尊いものであろうと思います。

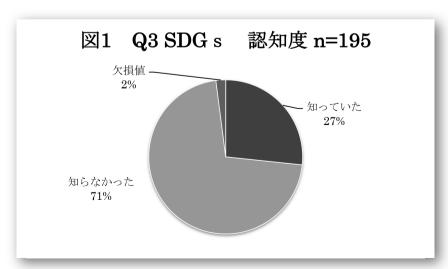
知識や設備を投資して何か新しいことを

アンケート結果から

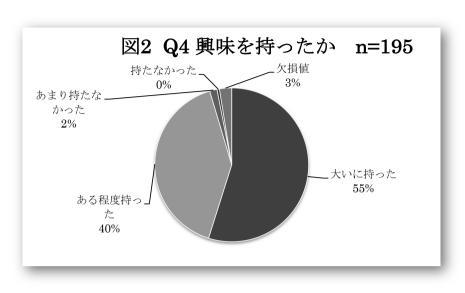
げます。
協力いただきました皆さまに感謝申しあただきました。この場をお借りして、ご頼しましたところ、一九五通の回答をい

1のとおりです。
度」についてお尋ねしました。結果は図アンケートでは、SDGsの「認知

たことあるが、内容は知らなかった」なても「何も知らなかった」「名前は聞いを超える数値となっています。記述を見と三割を切り、「知らなかった」が七割と



25



内におけるSDGsの認知度は高くない どの回答が多く寄せられました。 ネットワーク・ジャパン〔GCNJ〕 諸国やアメリカなどに比べ、 調査結果 グ バ ル・コンパク 日本国 日 1 口

> という現状が窺えました。 年に調査結果を公表している)と同じよう 宗門関係者の方々の認知度もやはり低 JXTGホールディングはともに二〇一七 当日ご参加いただいた一 般の方々、

興味を「大いに持った」が五十五 ご紹介いたします。 ていただけたのか、 答えられている傾向が多く見られます。 答された方が「大いに興味を持った」と ところSDGsを「知らなかった」と回 でした。特にQ3でクロス集計を行った 十五%の方に関心を持たれたという結果 を持たなかった」までの五段階でお尋ね 回答では、「大いに持った」から「興味 たか」という問いを作成していました。 はQ4に「SDGsについて興味を持 したところ、図2の結果となりました。 「ある程度持った」が四十%と、 それでは、どのような点に関心を持 こうした状況を予想し、アンケートで 記述回答をいくつか 実に九 %

二〇一五年頃は地球環境問題について

といった自分自身への気づき、 多く報道され関 っている自分に気づくことができた。 この問題の深刻さへの意識が薄ま 心心も 高 かったが、 自分自身 現

と貧困や環境といったSDGsで提示さ が多くいらっしゃいました。そうした中 れた諸課題とを関わらせて捉えられた方

で、

「誰一人取り残さない」というSDG を重ねて理解できました。 Sの理念と阿弥陀如来の 「摂取不捨

お寺が取り巻く環境の中で実践できる ことなのだと気づいた。

院・ 極的にパネリストの先生方のご意見をお 谷裕子氏が重要な問題であるとして、 スカッションにおいてモデレー ました。こうしたご意見は、 合わせて考えられた方が多く見受けられ とあるように、 僧侶の活動をSDGsの理念と重ね 浄土真宗のみ教えや寺 パネルディ ター 0) 玉

社会活動を実践されている方からは、えられます。さらに、すでにさまざまな聞きいただいたことも理由の一つだと考

になった。 ・草の根運動をしている者として、励み

下の通りです。

下の通りです。

こなどと、現在の活動の後押しになったとなどと、現在の活動の後押しになったご意

「の通りでする。

これで、今後の課題をご指摘くださったご意

で、今後の課題をご指摘くださったご意

「の通りです。

SDGsを達成するには、宗教の垣根に議論を深めても良かった。幅広いテーマなので、目標別・項目別

が参加し、考えることが大切。くが年配者だったのが残念。若手僧侶・良い内容であったが、寺院関係者の多

を取り払うことが必要。

こうしたご意見は、SDGsで目標とさ

摘していただいているといえます。していくかを考える際に不可欠な点を指れた世界に存在する諸課題をいかに解決

標をより具体的に、「目標別・ 本における都市部と地方における貧困問 ち一人ひとりがSDGsに掲げられた目 てきます。ご意見にあったように、 れぞれ具体的な目標や取り組みは異なっ 題を分けた上で対象にする場合では、 困問題を対象にする場合、 題を対象とする場合と、日本における貧 る「貧困」は、世界中に存在する貧困問 例えば、SDGsの第一の目標とされ あるいは、 項目 私た 別 そ 日

す。

に議論することは不可欠な作業です。そしてその際に大事になるのが、「誰一人取り残さない」という理念であり、この理念によって行政だけでなく、NPOなどの諸団体をはじめ私たち一人ひとりがどの諸団体をはじめ私たち一人ひとりがで根を取り払って」取り組んでいく必要があることは当日のパネルディスカッションでも強調されていました。

か、また、どのように活動していけばい今後どのような活動が必要であるの

は大事な点になってくると考えられますでに多様な活動を展開されています。こうした活動に「次世代を担う人びとこうした活動に「次世代を担う人びと、次世代リーダーズ)・若手僧侶」を巻き込み、活動を継続・展開させていくこと

(総合研究所 教団総合研究室)